

■植芝盛平 合気道を創始し、門弟を多数育成して世界的にも知られる。

うえしばもりへい
岩倉具視没・1883＝

和歌山県西牟婁郡西ノ谷(現田辺市)で、中農植芝与六の長男に生まれる。

虚弱体質・神経過敏な気質で、

帝国憲法発布1889＝6歳：近くの私塾で四書五経の手ほどきを受け、

大本教・・・1892＝9歳：この年、父が村会議員となる。

日清戦争始・1894＝11歳：

白馬会・・・1896＝13歳：新設の和歌山県第二尋常中学校に入学するも、神経質な性格のため、

八幡製鉄始・1897＝14歳：中退して、吉田珠算研究所に通い、

そろばんの特技を生かすべく税務署に勤務するが、

田中正造直訴1901＝18歳：漁業法制定で重税をかけられることになった漁民らの反対運動に参加して辞職、

教科書疑獄・1902＝19歳：上京し、文房具卸売業(植芝商会)を開業、傍ら起倒流柔術・神陰流剣術を学ぶも脚気となり、帰郷して療養。回復後、幼馴染のはつと結婚。

日比谷公園・1903＝20歳：兵役につき、その間、**柳生心眼流柔術の中井正勝の道場に通い練磨、**

日露戦争終・1905＝22歳：日露戦争に従軍。戦功をあげて軍曹となり、陸軍予備士官学校入学を勧められるも、父に反対され除隊。

アヲキ創刊・1908＝25歳：

柔術の免許を受ける。焦慮を心配した父が、来遊中の柔道家を招いて、自宅に道場を開設、その指導を受けるうち、近所の青年が参集して談論風発、おりから神社祭祀政策に反対する南方熊楠に一同共鳴して立上がり、合祀数全国最少の成果を挙げる。他方、政府の北海道開拓移民計画に共鳴、同志を募り、

韓国併合・・・1910＝27歳：

長女が誕生。父はこの年まで村会議員をつとめた。

明治天皇没・1912＝29歳：{紀州団体}を結成して長となり、北海道紋別郡白滝村(現遠軽町)の原野に移住、遠軽で大東流合気柔術の

武田惣角と出会って感服、私設道場に招いて有志とともに合気柔術を習いながら、開塾に率先して苦闘、

大正政変・・・1913＝30歳：まちづくり・組合設立などに献身して”白滝王”と尊称される。

民本主義・・・1916＝33歳：大東流合気柔術の免許を受ける。諸作物に成功し、おりからの木材ブームで活況を呈するも、

ロシア革命・1917＝34歳：長男が誕生。大火に見舞われ、不眠不休で復旧。推されて上湧別村会議員となると政治的手腕を発揮。

ベルリン条約・1919＝36歳：父危篤の報に衝撃受け、全てを放棄して帰郷途中、大本教出口王仁三郎の存在を知り、京都綾部で接見。

大暴落・・・1920＝37歳：***父の死去後の帰郷となり一時精神不安定。周囲の反対押し切って一家で綾部に移住。出口王仁三郎の絶大な信頼を得て片腕的存在になるとともに、道場(植芝塾)を開設。この年、長男・次男も相次いで失う。**

原敬首相暗殺1921＝38歳：三男が誕生。{植芝塾}はすぐに全国的に知られるようになり、大本教弾圧事件の影響も受けずに済む。

水平社結成・1922＝39歳：母が死去。保釈された出口王仁三郎とともに大本教の評判を高め、その命名で”合気武術”と呼称。

護憲三派圧勝1924＝41歳：出口王仁三郎警護のため、モンゴル行きに従い、馬賊の頭領盧占魁とともに活動。パインタラでの張作霖による危機をのがれて帰国。”合気武術”は”神技”のおもむきを呈しはじめ、

治安維持法・1925＝42歳：来訪した剣道教師の海軍将校と相対して開眼。さらに回心に至り、多くの全国著名人が弟子入り。

円本時代始・1926＝43歳：竹下海軍大将の招聘で再上京した際には、宮中・軍部・財界トップに指導するが、内臓に変調来たし帰郷。

金融恐慌・・・1927＝44歳：***出口王仁三郎の勧めもあって、一家を上げて上京、道場(皇武会)を開く。**

共産党事件・1928＝45歳：

著名人の弟子入り続いて、次々道場を移転拡張し、

満州事変・・・1931＝48歳：東京若松町に本格的な道場(皇武館)を開設。

五一五事件・1932＝49歳：機関誌(武道)を発刊。

国際連盟脱退1933＝50歳：兵庫県竹田にも本格的な道場を開設。

芥川直木賞始1935＝52歳：第二次大本教弾圧事件が起こるも影響受けず。

二二六事件・1936＝53歳：”合気武術”を”合気武道”と改称することを宣言。

日中戦争始・1937＝54歳：

ますます盛況を極め、

大政翼賛会・1940＝57歳：{財団法人皇武会}(初代会長竹下勇)として厚生省より認可を受け、

日米開戦・・・1941＝58歳：

・・・1942＝59歳：

満州建国十周年奉祝大武道大会に招かれ、皇帝溥儀の前で披露、列席者に感銘。正式に”合気道”と改称するとともに、東京は三男吉祥丸に任せ、茨城県岩間に移住、以後、”武農一如”の理想実現に邁進。

年金+総武装1944＝61歳：合気神社の神殿成る。

敗戦・・・1945＝62歳：***合気修練道場完成。敗戦後、東京の活動も全て岩間に移り、以後、吉祥丸が再建につとめる。**

新憲法公布・1946＝63歳：

極東裁判決・1948＝65歳：{財団法人合気会}と改称。

戦後も海外に自ら出向くなど、晩年まで合気道の指導・普及に身を捧げ、

独立回復・・・1951＝68歳：

55年体制始・1955＝72歳：

美智子妃・・・1959＝76歳：{合気道新聞}が創刊され、以後毎号、道話・道文・道歌を発表。

安保闘争・・・1960＝77歳：NTV「合気道の王座」が制作され、その神技がフィルムに残る。この年、第一回合気道演武大会開催。

ハワイ病始・1961＝78歳：ハワイ合気会の招聘で渡米。

やがて、合気道人口は内外合わせて数十万人を超え、開祖として伝説化されて行くなか、

東京リビッパ1964＝81歳：勲四等旭日小授章。

震ヶ関ビル1968＝85歳：***日比谷公会堂での合気道本部新館落成記念演武大会で最後の真髓披露し、**

全共闘・・・1969＝86歳：**没した。**

直後に妻はつも死去。